

北 北海道交通セミナーin 富良野

北・北海道地域の交通利便性について



とき / 2002年2月16日(土)13:30～16:25

ところ / 富良野文化会館

主催 / 北・北海道交通研究実行委員会(実行委員長 小川 文三)

協力 / 創造と改革(旭川市)、北の星座共和国建国推進事務局、富良野地域世話人 ほか

後援 / 国土交通省北海道運輸局、経済産業省北海道経済産業局、北海道、富良野市

開催にあたり：実行委員長 小川 文三

上川南部地域の交通網は、歴史的にみると、根室本線や富良野線の敷設により始まり、農業や観光業などの飛躍的な進展により、地域の発展を支えて来ました。

しかし、石勝線の開通も相俟って鉄路が衰退し、その反面、道央自動車の整備や、それに付随する道路整備も進み、今や、そういった交通網の体系的、総合的整備が新たな課題となりつつあります。

特に、富良野・美瑛周辺は、夏季を中心に札幌方面、及び本州方面から旭川空港経由で訪れる観光客が急増している事もあり、「陸・空」の交通体系や、管内の交通アクセスを広く考える時期であると認識するものであります。

今回は、上川南部地域においてより良い交通体系のあり方を検討し、実行に結び付けていくことで地域の発展を促進すべく、本セミナーを開催致します。宜しくお願いします。

プログラム

受付 13:00～13:30

開会挨拶 13:30～13:40

司会 水上いずみ (FMリバーパーソナリティー：旭川市)

開会挨拶 北・北海道交通研究実行委員会 副実行委員長 水口 正之 (滝川市)

来賓挨拶 北海道上川支庁 地域政策部地域政策課長 松本 宏之 様

基調講演 13:40～14:40

「上川南部地域の総合交通体系の整備について」

講師 鈴木 文彦 氏 (交通ジャーナリスト)



1956年山梨県甲府市生まれ。東北大理学部、東京学芸大(修士課程)では地理学を専攻。現在、フリーの交通ジャーナリストとして活躍する。月刊雑誌「鉄道ジャーナル」「総合交通」のレギュラー執筆のほか、日本バス友の会企画部長、日本交通学会会員、鉄道史学会会員、学校法人竹早学園非常勤講師(地理学担当)等を兼務する。その他、バスや鉄道に関する論文・取材記事や、「高速バス大百科」「はじめての高速バス」(中央書院)、「路線バスの現在・未来」(グランプリ出版)、「多摩の鉄道百年」(分担執筆・日本経済新聞社)、「よみがえる過疎バス」(日本バス友の会)など、著書も多数。また、国土交通省、都道府県、自治体等での委員として、あるいは全国各地のバス事業者等でのアドバイザーとして活躍する。東京都在住。

講演の詳細については、レジメをご参照下さい。

休憩 (懇談会準備) 14:40～14:45

懇談会 14:45～16:20

「上川南部地域における交通を考える」

コーディネーター 白井 暢明 氏 (旭川工業高等専門学校 教授)

検討課題 鉄道線、バス路線、道路網、運送関連、空港アクセス など

参考資料 北・北海道交通セミナーin あさひかわ概要 (2001年11月10日に旭川駅2階で開催されたセミナー。メディアあさひかわ1月号記事参照) ほか

閉会挨拶 16:20～16:25

北・北海道交通研究実行委員会 事務局長 小野寺 康充 (旭川市)